



校 訓
教育目標

強い心 強い体

自立貢献～人の役に立つ喜びを実感できる生徒の育成～

玉造中学校だより 7月号

令和7年7月9日 発行

キャリア教育講演会

6月19日(木)と24日(火)の2日間、講師の先生をお招きしてキャリア教育講演会を行いました。

1日目は、講師の先生ご自身の経験をもとに、「失敗しても成長できる、成功したら感動できる」と、失敗から学んだこととお話いただきました。また、2日目は、「問いを立てる力が大切 まず答えを求めず自分に問いかける」と、小さなチャレンジから取り組むことが大切だというお話をいただきました。

講師の先生方から、「生徒が積極的でとても話しやすかった」とお褒めの言葉をいただきました。この2回の講演会で学んだことがたくさんあったようです。それを生かし、自分の将来について思いを膨らませるきっかけにしていきたいと思います。



自分の失敗を語る講師の先生



感謝の言葉を伝える生徒



生徒とやりとりする講師の先生

生徒のアンケートから(一部抜粋)

- 見返りを持つと「応援」じゃないということが心に残った。応援は、されたいからするんじゃなく、したいからする、このことをもとに部活や試合をしようと思った。また、「問いかける」ということが心に残った。人の意見が周りと違うからって笑ったり、文句を言うのではなく、その人がどんなことを考えていたのかを自分も考えてみようと思った。
- 出前講演会を聞いて、とてもいいものになったし、これからの将来について考えることができたり、今ある夢をあきらめなくていいんだ！と思えるようになった。
- 自分では知らなかった、分からなかったことを聞くことができて、自分のためになったと思いました。実際に今まで経験してきた人にしか分からないことを教えてもらうことができてよかったです。

後期生徒会役員選挙

6月23日(月)、生徒会役員選挙を行いました。立候補者それぞれが、学校に対する思いや取り組んでみたいことを、本校の特徴的な取組である公開討論会を通して語ってくれました。

今回の公開討論会の話題は、「あいさつを、より活性化するために、生徒会として何ができるか」でした。立候補者全員が自分の考えを積極的に発信し、「こんな取組をやっていきましょう」という具体的な提案をしてくれました。立候補者全員、他者の意見を受け入れながら自分の考えをよりよいものにしていくという姿は、とても立派でした。



公開討論会



ありたい学校の姿を語る



他者の意見を生かしてよりよい取組に

学校運営協議会（コミュニティースクール）

6月25日（水）、第1回学校運営協議会を開催しました。

学校運営協議会とは、地域とともにある学校づくりの実現に向け、教育活動の充実や学校運営の改善に関する協議を行うとともに、保護者や地域住民による学校運営への支援・協力を促進するための取組を行う組織です。学校運営協議会が設置された学校を「コミュニティースクール」と呼び、本校では令和5年度より設置し、活動を行っています。

学校運営協議会委員は現在6名で、学校教育に関する方針や教育活動についてのご意見をいただくとともに、様々な場面でご協力いただいています。例えば、技術・家庭科での木工・ミシンのがけでの学習指導に関する支援や、職場体験学習前の電話のかけ方講習などがそれにあたります。学校にとって、とても力強い応援団です。

今後の活動についても、学校だよりとともにホームページ上でも紹介していきますのでご覧ください。



学校運営協議会委員の皆さん



学校運営や教育活動についての説明



学校支援についての意見交換

薬物乱用防止街頭キャンペーン

6月28日（土）、ベシヤ玉造店を会場に、薬物乱用防止のための街頭キャンペーンを行い、ヤングボランティアとして、9名の生徒が参加しました。

生徒たちは、啓発資料の配付や募金協力への呼びかけを行いました。積極的に活動に取り組んでいる様子を見た他団体の方々から、「中学生すばらしいですね。」とお褒めの言葉をいただきました。

生徒一人一人が、自分で何をすべきか考え・判断し・行動する姿がそこにはありました。まさに、本校の教育目標である「自立貢献」を体現する姿に、同行した教員も感動しました。



厚生労働大臣メッセージ代読



啓発資料を配付する様子



自ら考え・判断し・行動する



募金協力への呼びかけ



たくさんの方々のご協力くださいました



活動後の充実した様子